

五戸町高齢者地域見守りネットワーク事業

〈見守り事業のスローガン〉

- 1、今あるものを活かし、できることから始める。
- 2、地域住民に負担なく、長続きする形で実践する。
- 3、地域ごと(自治会ごと)の取り組みを支援する。

取り組み状況

- ・町の広報誌に掲載
- ・見守りチラシの町内回覧
- ・健診結果説明会でPRパンフレット配布
- ・自治会長会議、民生委員定例会、保健協力員説明会、消防団研修会などで事業の説明と協力依頼
- ・各種団体の研修会でPR
- ・見守り協力機関（商店、配達業者、金融機関、医療機関、介護サービス事業所、行政機関など）に伺い、事業説明と協力依頼
- ・認知症サポーター養成講座での周知（中学校、商工会婦人部や日赤奉仕団、統計協会などの組織）

今後の取り組み

- ・地域（自治会単位）を選定し、見守りネットワークづくりを支援する。



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市町村名	五戸町
②人口（※１）	１８，９３０人（平成２５年 ３月３１日現在）（ ）
③高齢化率（※１） （６５歳以上、７５歳以上それぞれについて記載）	（平成２５年 ３月３１日現在）（ ） （６５歳以上）３１，５３％ （７５歳以上）１７，７７％
④取組の概要	気になる高齢者を見守る事の必要性和具体的な見守り方法を絵入りポスターやパンフレット、文書により、町民や町内のあらゆる機関に周知し協力依頼している。
⑤取組の特徴	できる限り他の事業、関係機関と連携活用して、地域住民への普及啓発を図っている。
⑥開始年度	平成２２年度
⑦取組のこれまでの経緯	町の広報誌には毎年掲載するほか、開始初年度は健診受診者への集団指導や認知症セミナー養成講座でのPR、自治会長会議その他団体の研修会等の場でPRを行い、２年目、３年目も未介入の団体に働きかけ等継続している。
⑧主な利用者と人数	一般町民や見守り協力機関（商店や配達業者、金融機関、医療機関、介護サービス事業所、行政機関など）約２，０００人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	五戸町（介護保険課）、五戸町社会福祉協議会、五戸町民生委員 五戸地域介護支援専門員連絡協議会など
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	
⑫取組の課題	あくまでも協力であり、義務ではないので、各自の意識にゆだねられるので効果の有無が不明瞭。ただし以前に比べ「気になる高齢者」の情報は地域住民その他から地域包括支援センターへ連絡は多くなった。
⑬今後の取組予定	意識が薄れないよう再度出向いて協力依頼していく
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	介護保険課、地域包括支援センター（0178-62-7956）

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
調査日（平成〇年〇月〇日現在）を記入してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。